

## 「(仮称) 藤沢市スポーツ都市宣言」の制定について

「ラグビーワールドカップ2019」や、「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」(以下「東京2020大会」という。)の世界的なスポーツイベントが身近で開催されることにより、市民のスポーツへの関心が非常に高まりを見せております。

現在のコロナ禍においても、スポーツは私たちに元気を与えてくれる源となっており、スポーツが持つ力の大きさを改めて強く感じているところでございます。

また、本市においては、「健康寿命日本一」を目標に掲げ、人生100年時代に誰もが楽しく気軽に健康づくりに取り組むため、スポーツの果たす役割は、今後ますます重要になってくると考えられます。

このような背景から、市民に対して、スポーツの意義・価値の浸透や意欲の向上を図るとともに、オリンピック・パラリンピックによってもたらされるレガシーとして未来に繋げるため、スポーツを通じた健康増進を図り、活力あふれる藤沢市となるよう「(仮称) 藤沢市スポーツ都市宣言」(以下「スポーツ都市宣言」という。)を制定するものです。

### 1 宣言に至るまでの経緯

これまで、「未来につなぐ東京オリンピック・パラリンピック藤沢市支援委員会」をはじめ、「藤沢市スポーツ推進審議会」や「藤沢市体育協会」などの会議の場や、市議会の場において、本市が「スポーツ都市宣言」をすることについてご意見をいただいております。

本市としては、令和2年度の施政方針において、市制施行80周年にあわせ、スポーツ都市宣言へ取り組むことを表明いたしました。

しかし、新型コロナウイルス感染症の影響により、「東京2020大会」や「ねりんピックかながわ2021」が1年延期となり、スポーツを取りまく環境も一時的な停滞を余儀なくされたことなどから、令和3年度中に宣言を行うことといたしました。

### 2 宣言の目指す方向性

藤沢のまちが、スポーツを楽しむ元気な市民であふれ、子ども、高齢者、障がい者など、市民一人ひとりが「いつでも・どこでも・だれでも・いつまでも」スポーツに親しみ、生涯にわたって心身ともに健康で豊かなスポーツライフを楽しめるよう、目標を掲げてまいります。

また、「する」「観る」「支える」スポーツをさらに推進し、将来にわたるまちの賑わいの創出、経済の活性化、地域交流の促進へと繋げていきます。

そして、スポーツ都市宣言を基本理念とする新たなスポーツ推進計画を策定し、令和4年度から新たな計画の下でスポーツ施策を推進してまいります。

### 3 現在までの検討状況

#### (1) スポーツ推進審議会等での検討

- 令和2年 9月 9日(水) スポーツ推進計画見直し検討部会
- 10月28日(水) スポーツ推進計画見直し検討部会
- 11月18日(水) スポーツ推進審議会
- 12月23日(水) スポーツ推進計画見直し検討部会

#### (2) 委員から出された主な意見

- ・子どもたちに、夢を与え、実践してもらい、国民体育大会やオリンピック出場を目指してもらえるような宣言であってほしい。
- ・市民のスポーツに対する意欲を、さらに高めていくための宣言とすべきである。
- ・藤沢らしさや、わかりやすい表現とし、市民へ宣言に対する関心を持ってほしい。
- ・障がい者スポーツについては、多くの人に支えてもらえるような視点が必要である。

### 4 市民意見の反映

藤沢市体育協会等のスポーツ関係団体をはじめ、青少年、高齢者、経済、福祉、医療等、幅広い分野の団体から広く意見を聴取し、反映させてまいります。また、パブリックコメントを実施し、多くの市民から意見を募ってまいります。

### 5 今後のスケジュール

- 令和3年 2月 市議会2月定例会子ども文教常任委員会にて経過報告
- 3月 各団体から意見聴取  
※ワークショップもしくはアンケート形式
- 5月 スポーツ都市宣言原案策定
- 6月 市議会6月定例会子ども文教常任委員会にて経過報告
- 7月 パブリックコメントの実施
- 9月 市議会9月定例会議案提出
- 10月 スポーツ都市宣言制定予定

以 上

(事務担当 生涯学習部 スポーツ推進課)